

令和 5 年度 藤島地域主要事業

藤島地域まちづくり未来事業【予算額 26,242 千円(+3,231 千円)】

合併の理念である「多様性の発揮」を実現するために、地域振興計画に基づき全市域で地域の特性を活かしたまちづくりが進められてきた。令和元年度より地域まちづくり未来事業が本格的にスタートしたのを機に、新・地域振興計画も策定され、「農業振興」、「ふじのまちづくり」、「くらし」に関わる 3 つの基本方針を設定するとともに、地域の未来に活力を与え、明るい希望が持てる地域社会を実現しようとする、「藤島地域まちづくり未来事業」を核とする地域振興に資する取り組みを展開する。

令和 5 年度は以下の 3 つの基本方針の中で、17 の個別事業に取り組む。

○基本方針 1 「豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現」

【予算額：6,774 千円 (+968 千円)】

- ①藤島発！！鶴岡の米プロジェクト ➤3 事業
- ②藤島発！！園芸作物拡大プロジェクト ➤2 事業（再掲）
- ③食農教育等を通じたふるさと意識の醸成 ➤1 事業（再掲）
- ④庄内農業高等学校・首都圏大学との地域連携の推進 ➤2 事業（1 事業再掲）

○基本方針 2 「歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進」

【予算額：14,382 千円 (+1,788 千円)】

- ①藤島歴史公園「Hisu 花」を活用した藤島地域の魅力発信 ➤3 事業
- ②住民協働による藤棚等の適正な維持管理の推進 ➤4 事業
- ③伝統芸能の育成と地域コミュニティづくり ➤2 事業

○基本方針 3 「くらしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築」

【予算額：5,086 千円 (▲475 千円)】

- ① 自立分散型インフラ整備の推進 ➤2 事業
- ② 子育て世代から選ばれるための支援の充実 ➤2 事業
- ③ 健康でいきいきと暮らせるしくみづくり ➤3 事業（再掲）

(総務企画課)

1 藤島歴史公園関連事業（まちづくり未来事業枠） 【予算額 6,199 千円】

- ・藤島歴史公園「Hisu 花」魅力発信事業 【予算額 4,511 千円】
- ・藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくり事業 【予算額 300 千円】
- ・東田川文化記念館利活用事業 【予算額 729 千円】
- ・藤島花咲かせ活動支援事業 【予算額 659 千円】

藤島歴史公園「Hisu 花」をテーマ性のある重要な藤島地域の地域資源と捉え、交流拠点化と賑わいづくりを進める「Hisu 花」ワークショップを令和 5 年度も開催し、本市を代表する冬のイベントとなった藤島イルミネーションを引き続き開催していく。

また、「見ごたえのあるふじ」の育成に向け、地域に根差した公園づくりを推進するため、藤棚管理ボランティア団体や花壇定植活動を行う市民団体等を支援するとともに、ふじの花まつり期間中のライトアップや、ふじのオフシーズン時（秋から冬場）のイルミネーションの設置などを市民団体や商工業関係団体等とも連携し行い、年間を通した公園の魅力アップを行う。加えて、令和 5 年度の新たな取り組みとして、ブランド米の産地 PR 看板をイルミネーションでデザインし、本市のふるさと納税額アップを図るための役割を Hisu 花のイルミネーションが担うことになっている。

隣接する東田川文化記念館では、郷土の歴史を研究する団体の活動の支援や施設の利活用に関するプラン策定を実施し、また国史跡指定に伴い情報発信として歴史的価値の理解を深めるイベントを開催する。

これらの藤島歴史公園関連事業をとおり、歴史公園一帯を藤島地域の魅力の発信拠点、活動拠点として、誇りと愛着をもって暮らしていける地域づくりを推進する。

2 藤棚の整備事業（まちづくり未来事業枠） 【予算額 3,600 千円】

スポーツ課所管施設となるが、ふじのまちにふさわしい環境整備を図るため、藤島体育館周辺の老朽化した木製藤棚を複数年（R1～R7）かけ計画的に整備する。令和 5 年度は 7 スパン分をメッキ鋼製の藤棚に交換する。

3 長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業（まちづくり未来事業枠）

【予算額 3,248 千円】

公共交通空白地域となっていた長沼・八栄島地区に令和 3 年 6 月より地域

が運営主体となる地域公共交通の導入が図られた。令和5年度も引き続きデマンド型タクシーによる実証実験運行(3年目)を実施するにあたり、長沼・八栄島地区デマンド交通運営協議会を支援する。

4 藤島地域公共交通再編事業(まちづくり未来事業枠) [予算額 797 千円]

路線バスエリアであっても公共交通空白地域となっている交通不便地区が多く発生している。既存の路線バスに加え、東栄地区デマンド及び長沼・八栄島地区デマンドの交通網も活かした藤島地域全体の公共交通の再編を検討していくための調査事業を専門家へ依頼し、実施した調査の結果を受け、令和5年度は、住民の利便性を第一に考えた公共交通網を構築する各地区検討会等を実施する。

5 コミュニティセンター修繕(小規模修繕枠) [予算額: 2,821 千円]

長沼地区地域活動センター正面玄関・体育館屋根雪止め設置、八栄島地区地域活動センター音響設備更新をはじめ各活動センター修繕を実施する。

6 住民自治組織総合交付金 [予算額: 18,695 千円(防犯灯除く)]

市から自治組織へ交付している複数の補助金等をまとめて交付することで、自治組織にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として交付する。

7 防犯灯事業補助金

- ・自治組織等が負担する防犯灯の新設及び更新に対する補助金。

[予算額: 650 千円(全市)]

- ・自治組織等が負担する防犯灯の維持管理に必要な経費に対する補助金。

(総合交付金、単独補助金の合算) [予算額: 1,308 千円(藤島地域)]

8 鶴岡市藤島地域総合防災訓練

鶴岡市地域防災計画に基づき、鶴岡市消防団藤島方面隊が、分団毎に災害発生を想定した訓練を計画し、藤島地域5箇所を会場に防災訓練を実施する。

一方市も、藤島地区の各町内会及び自治振興会と共に、情報伝達訓練及び避難所開設訓練を実施し、災害時における対応の確認と定着を図る。

9 藤島文厚エリア検討事業(まちづくり未来事業枠) [予算額 411 千円]

藤島中学校の改築時期を数年後に迎えるにあたり、令和4年度から2か年、藤島地域の教育環境のあり方などを話し合う「藤島地域教育振興会議(教委主催)」が開催されている。この結果を基に、令和5年度は、文厚エリア内の老朽化施設の整備の方向性について、「文厚エリア内部検討会議」を立ち上げ、

専門家の力を借りながら内部検討を行い、整備計画案の基礎資料づくりを進める。

(市民福祉課)

10 長沼温泉ぽっぽの湯管理運営事業 【予算額 107,220 千円】

長沼温泉ぽっぽの湯活性化事業（まちづくり未来事業枠）

【予算額 630 千円】

長沼温泉ぽっぽの湯は、令和3年度より健康増進施設としてスタートしている。地元主体の長沼温泉ぽっぽの湯運営協議会が指定管理者となり運営を行い、フレイル予防事業を実施するとともに、自治振興会やスポーツ関連団体等と連携し、藤島庁舎各課と一体で利用者拡大の取組を推進する。施設は建設から22年を経過していることから、適切な維持修繕を実施する。出湯量が減少している長沼2号源泉の井戸洗浄工事を実施し、出湯量増加による燃料費等の経費削減を図る。

また、活性化事業（まちづくり未来事業）では、子育てを支援する事業等の展開により新たな客層を取り込み、利用拡大を図る。

11 健康づくり、介護予防事業

健康の維持増進を促進するため、健診業務を実施するとともに、受診率の向上に取り組む。また、安全に予防接種を行い、接種率の向上と感染防止を図る。

保健推進員や食生活改善推進員、地域包括支援センターと連携し、町内会、老人クラブ等で健康教室を実施し、講話や運動実技、調理実習等を通じて介護予防活動の推進を図り、いきいきと暮らせる地域づくりを目指す。

12 高齢者支援事業

老人クラブ等の活動支援、長寿祝品伝達等、高齢者を対象とした各種事業の実施を通して生きがいつくりと社会参加を推進するとともに、敬老会事業の支援を行う。

見守りが必要な高齢者に民生委員が訪問する支援事業や、高齢者福祉・介護保険による助成・給付事業を継続して実施する。

13 子育て支援事業

安心して子育てできる環境を確保するため、社会福祉法人「ふじの里」が指定管理者となっている藤島こりす保育園及び藤島くりくり保育園や、学校法人「いなば学園」が指定管理者となっている藤島児童館の円滑な運営を支援する。また、放課後児童クラブ、子育て支援センターとしての施設の活動も支援する。

14 藤島斎場管理運営事業 **【予算額 9,527 千円】**

藤島斎場は、火葬炉 2 基を配置し 1 日に最大 6 体の火葬が可能で、年間 200 件前後の使用があり、藤島地域のみならず鶴岡斎場と共に鶴岡市の火葬業務を担っている。昭和 59 年稼働の施設・設備ではあるが、今後も火葬件数は増加すると見込まれることから、適切な維持修繕を行いながら運営していく。

15 藤島ふれあいセンター管理事業 **【予算額 4,426 千円】**

藤島ふれあいセンターは、令和 4 年度から中町町内会を指定管理者として管理運営を行っている。(指定期間 3 年間) 住民の自主活動を推進し、地域の活性化に資するよう進めていく。

なお、隣接の市場であった普通財産部分は、令和 8 年 3 月末まで株式会社出羽マルシェに貸し付けている。

(産業建設課)

16 藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業 (まちづくり未来事業枠)

【予算額：956 千円】

先進的な有機農業技術の習得により品質向上を図るとともに、有機農産物等の安定生産を図る。

また、有機農産物及び独自認証米について、首都圏でのイベント交流や有機農業出前授業を再開し、販路拡大を図る。

このほか、全農業者を対象に GAP 認証の取得を啓発し、食品安全、環境安全、労働安全等の確保を推進する。

地産地消事業については、野菜の納入組織と連携して新鮮で安心な地場産野菜を納入し、地産地消率の向上を図る。

また、子供たちが農業の未来や魅力に関心を持ち、地域への誇りと愛着を育むため、田んぼの生き物調査や有機農業出前授業を行い、循環型農業の必要性や持続可能な環境を守っていく意識を醸成する。

17 藤島農産物元気事業 (まちづくり未来事業枠) **【予算額：1,874 千円】**

「藤島農産物元気食楽部」を核とし、生産者と農業関係機関が一体となった農業振興を図り、地域農業の活性化を推進するとともに、研修会や講義等を開催し、後継者の育成を図る。

また、稲作と園芸の複合経営を推進し、認証制度の活用により生產品の均一化を図るとともに、低コスト化や省力化技術等を実証し、農家所得の向上を図る。

18 庄内農業高等学校地域連携事業（まちづくり未来事業枠）

【予算額：1,000 千円】

本市農業の人材輩出機関である県立庄内農業高等学校では、地域連携事業を展開し教育機関としての同校の更なる発展と魅力ある学校づくりの取組みを推進している。

引き続き、ユネスコ食文化創造都市鶴岡の魅力体験事業、農業の成長産業・6次産業化支援事業、農・福連携地域交流農園支援事業、農業コンテスト出品等PR支援事業に取り組むことにより、地域の特性を活かした農業振興と地域づくり、地域活性化と同校卒業生の地元定着の促進を図る。

特に6次産業化支援事業のうち庄農うどんプロジェクトでは、地元農家との連携や地元産原料使用の検討を進める。また、庄農生の活動の発信強化を図り、同校のイメージ向上と入学者数増加に繋げていく。

19 藤島地域農の魅力拡大事業(まちづくり未来事業枠)[予算額:2,944 千円]

鶴岡産米と豊かな田園、稲作に携わる人々の魅力を広く拡散し、ふるさと納税の「米」寄付額の倍増を図るため、若手農業者美味しい米コンクール（第2回）を開催する。

また、藤島地域と関係の深い大東文化大学の学生と連携し、首都圏イベントで鶴岡産米のPRを行うとともに、お米をテーマにした動画を配信し、SNS等で拡散することにより鶴岡産米全体のイメージ向上を図る。

この他、地域の魅力あるふるさと寄付金返礼品を発掘、増設することで地域特産物の価値向上と販売拡大を図る。

20 まつり振興事業（伝統芸能祭開催事業含む） 【総予算額：3,890 千円】

・「ふじの花まつり」 【予算額：1,300 千円】

・「ふじしま夏まつり」 【予算額：1,270 千円】

鶴岡伝統芸能祭（まちづくり未来事業枠）【予算額：790 千円】

・「ふじしま秋まつり」 【予算額：530 千円】

主要観光事業である「ふじの花まつり・ふじしま夏まつり・ふじしま秋まつり」をコロナの状況に応じた対策を講じながら開催する。

5月の地域最大のまつりである「ふじの花まつり」は地域外来客者の割合が多いため、より多くの来場者が増えるよう、イベント内容を工夫し、藤島歴史公園・藤島体育館周辺を会場に一層力を入れていきたい。

「ふじしま夏まつり」は、まちづくり未来事業である鶴岡伝統芸能祭と、市民参加型イベントをメインにしている。特に伝統芸能祭は市内全域から保存団体が集まるため、伝統の技を披露する場として、また出演者同士が交流を深める貴重な場となっている。

11月開催の「ふじしま秋まつり」は、「つや姫の里の収穫祭」をテーマとし、藁を使った参加型オリジナルイベントや「鶴岡ごはん日本一」など「米の里ふじしま」らしい取り組みを通して「食と農による地域づくり」を広くアピールしていく。

来年度も3大まつりに関しては、商工業者の活動を活発化するために連携を強化していく。

21 建設関連事業

◇ 道路新設改良事業（本所土木課）

- ・藤島駅線（改良工事）[予算額：19,000千円、電柱移転補償1,000千円]
令和4年度に引き続き側溝整備工事を実施。
- ・宮東土口線（改良工事）[予算額：6,400千円]
- ・添川立谷沢線（表層工事）[予算額：3,600千円]

◇ 道路公共事業（本所土木課）

- ・長沼地区冠水対策事業（長沼）本工事
長沼集落内の冠水被害を防ぐ排水対策工事を継続して実施します。

◇ 道路維持事業（まちづくり未来事業枠）[予算額：3,500千円]

- ・ふじのまちかど整備事業（25基の内6基。令和4年度に6基済）
市道の老朽化した藤棚の修繕を実施します。

◇ 公園管理（まちづくり未来事業枠）[予算額：1,097千円]

- ・藤島駅前広場照明灯修繕6基のうち3基(残りは令和6年度要求)
- ・駅前児童公園遊具修繕
- ・藤の花地内緑道照明灯修繕